

令和5年度 飯田市キャリア教育の推進について

1 ねらい **教育ビジョン：地育力による 未来をひらく ころ豊かな人づくり**

*地育力：飯田の資源を活かして飯田の価値と独自性に自信と誇りをもつ人を育む力

変化の激しいこれからの時代を生き抜くために、地球規模で物事を考える広い視野と、生まれ育った地域に誇りと愛着を育むことが大切だと考えています。

「地育力」を活用したふるさと学習や体験的な学びを軸とした「飯田型キャリア教育」を幼児期から高等教育期まで、発達段階に応じて切れ目なく推進していきます。

「飯田型キャリア教育」では、**自らの生き方を主体的に切りひらき、人とつながりあっていくための力を育み、ふるさとを心根においた未来の地域の担い手や地域を支える人**（ふるさとのよさに気づき、自ら関わろうとする態度をもつ人）づくりをめざします。

*「飯田型キャリア教育」は「地育力で私と地域の未来をひらく教育」と説明しながら推進します。

2 地育力で私と地域の未来をひらく「飯田型キャリア教育」で育みたい4つの力

【文科省が例示する基礎的・汎用的能力】

【4つの力：飯田型キャリア教育で目標とする資質・能力】

■人間関係形成・社会形成能力

（かかわる力）

■自己理解・自己管理能力

（みつめる力）

■課題対応能力

（うごく力）

■キャリアプランニング能力

（みとおす力）

■人とつながる力（結いの力）

例：自己表現力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、チームワークなど

■自分を見つめ夢や目標を描く力（みつめる力）

例：自己の役割理解、前向きに考える力、将来を描く力、忍耐力、主体的行動など

■課題をもって最後までやり抜く力（うごく力）

例：情報の理解収集、課題発見力、計画力、実行力、評価・改善など

■職業や仕事について興味や関心をもつ力

（みとおす力）例：学ぶこと、働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など

**ふるさとのよさに気づき、
自らかかわろうとする態度をもつ人**

【長野県が目標とする資質・能力】

自分の人生を構想する

『キャリアデザイン力』の育成

・・・キャリアプランニング能力をベースに、1度しかない自分の人生について、職業を通してどう社会と関わり、どう生きていきたいのかを、構想し続けていく力

社会的・職業的に自立した人間の育成

*令和2年度まで「飯田型キャリア教育」では、5つの力を育むように示されていたが、文科省の例示にあわせて4つの力に整理し、「ふるさとのよさに気づき、自らかかわろうとする力」は4つの力を支え、めざす姿とした。

3 地育力で私と地域の未来をひらく「飯田型キャリア教育」推進の方針

- (1) 子どもたちが地域の人や資源と関わりながら、実体験をともなう協働的な学びを行える場をつくる。家庭・地域と連携を強め、社会全体で子どもの学びの機会を支え、地域も磨き続けていく。
- (2) 子どもたちの発達段階に即し、幼児期から高等教育期まで一貫した理念で子どもを育てる。発達段階に応じた体系的な学びを、地域、事業所、教育・福祉、行政が目的を共有し、それぞれの役割を発揮しながら協働して支える。

<ふるさと学習等の体系的な学び>

地域を散歩・体験・浸る⇒地域を学び・知る⇒地域を考え・伝える⇒地域のために行動・貢献

- (3) 行政は、子どもたちの学びを支える多様な人や資源をつなげるコーディネート機能を果たす。

4 各学校における方策の留意点

- (1) 地育力を活用した「ふるさと学習」を中核に、小1～中3を見通し、小中一貫したキャリア教育年間指導計画に沿って実践を重ね、園とのつながりも含めて改善を図っていく。教師がルールを引きすぎず一人一人の願いや主体性を大事にし、体験が「探究的な学び」となるように展開を工夫したい。学んだことを地域に発信する等、表現活動を大切にするとともに、体験を振り返る時間をとり自分を見つめ(内面化)、友と共有しながら、自分の成長を確認したり、将来へ向けての自分のあり方を考えさせていく。
- (2) 各学校では特別活動や教育活動全般を通じて「自己理解」「他者理解」「役割理解」の視点から取り組み内容を整理していく。特に地域の人や資源と関わる内容を大事にする。それぞれの場面で「意思決定」する場面を繰り返し位置づけ、目指す資質・能力（4つの力）を育てていく。
- (3) 小学校から高等学校までキャリア教育に関わる諸活動について、自らの学習記録、自身の変容や成長を振り返り、地域の方・活動の伴走者との関わり等を端的にキャリア・パスポートに綴り、未来の自分を想像し続けていく。

参考

- 【自己理解】…自己の成長を実感することで、自分の得意なこと、好きなこと、努力すべき点を理解する
- 【他者理解】…協働することの意義を実感することで、人間の生き方の多様性と可能性を理解する
- 【役割理解】…社会（集団）の中の自分や他者の役割を実感することで、職業（仕事）を通して社会と関わるのが、自分らしく生きる人生につながることを理解する

長野県キャリア教育ガイドライン R2.3 改訂

5 地域・社会教育におけるキャリア教育

- ・地域行事や講座、ボランティア活動においても、「自己理解」「他者理解」「役割理解」の視点を意識しながら事業に取組み、「意思決定」を行う場面を大事にし、目指す資質・能力（4つの力）を育てていく。

6 家庭におけるキャリア教育

- ・「わが家の結いタイム」（「あいさつ」「お手伝い」「会話」「読書」）とも連携していく。

7 会議開催について

(1) 飯田市キャリア教育推進協議会

- ① 第1回 令和5年5月29日(月)
 - ・キャリア教育に関する基本的な方針と具体的な取組について協議
- ② 第2回 令和6年2月26日(月) 予定
 - ・今年度の取組の評価及び検証

(2) 飯田市キャリア教育研究委員会

- ① 第1回 令和5年6月8日(木)
 - ・信州大学教職支援センター 荒井 英治郎 准教授による講義
 - ・飯田型キャリア教育の推進について共通理解し、各校のキャリア教育の推進計画について発表
 - ・学びをつなぐ「キャリア・パスポート」の校種間の引継ぎや活用方法について情報交換
- ② 第2回 令和5年10月6日(金)
 - ・各校からの実践事例報告
- ③ 第3回 令和6年2月13日(火)
 - ・飯田市キャリア教育推進フォーラムを終えて成果と課題を協議

※幼児期から高等教育機関まで一貫した理念で子ども・若者を育てるために、今年度より高等教育機関との連携を図り、(1)・(2)の委員として、飯田短期大学と飯田コアカレッジに参加していただき、1年交代に委嘱していく

(3) 園小連携推進委員会

- ① 第1回 令和5年7月20日(木)
- ② 第2回 令和6年 月 日()

(4) 市内高等学校長との懇談

- ① 第1回 令和5年6月14日(水)
- ② 第2回 令和5年 月 日()
- ③ 第3回 令和6年 月 日()

(5) 高校・地域連携研究会

- ・市内各校代表教諭 ・ 昨年は年3回実施
- ・第1回は、飯田市キャリア教育研究委員会に参加し、飯田市や各校の取組を理解し合う
- ・事務局：大学誘致連携推進室 生涯学習・スポーツ課社会教育係

(6) 庁内調整会議 令和5年5月18日(木)

- ・各機関でキャリア教育・人材育成に関わる事業について情報共有

8 その他の取組

(1) 小中における取組

- ・小中連携・一貫教育推進委員会において、園小中高大の連携が重点の一つにあり、めざす子ども像に向けて小中一貫カリキュラムに沿って実践を重ね、ふるさと学習での育ちを共有したり、カリキュラムの修正をおこなったりする。

(2) 「結いジュニアリーダー」育成講座

- ・市内9中学校より中学2年生13人が年間7回の講座を土曜日に実施。
第1回(6月3日)、第2回(7月22日)、第3回(9月2日)、第4回(10月14日)、
第5回(12月2日)、第6回(1月13日)、第7回(2月10日)

(3) 高校生への取組

① 高校生意識調査の実施

- ・12月にキャリア教育に関わる3つの質問について、南信州8高校で実施し経年変化をみていく。
※ 地域への愛着度については、全国学力・学習状況調査の調査項目にないので、小学校6年、中学3年生に12月に実施して経年変化をみる

問1 ふるさと(自分の生活している地域)に対して愛着を感じていますか

問2 地域(社会)をよりよくするために、地域課題の解決に関わりたいと思いますか

問3 地域(社会)と自分のつながりや関係を意識しながら、自分の将来について考えることがありますか

② 総合的な探究の時間への支援、社会教育機関からのアプローチ

(4) 学校と企業が連携した取組

① 中学校職場・福祉体験の実施

- ・職場体験実務担当者会 第1回:5月16日(火)、第2回:11月30日(木)
- ・事業所(約700)への照会の回答方法について、今年度より、FAXに加えてながの電子申請サービスでも可能とした。

② 高校と地元企業をつなぐ取組について(産業振興課、生・スポ課支援)

9 令和5年度飯田市キャリア教育推進フォーラムの実施

- ・期日:令和6年2月10日(土) 会場:飯田市鼎文化センター
- ・R4年度の内容は、第1部 幼児期から高等教育期までのキャリア教育実践発表
第2部 パネルディスカッション ・テーマ:これからの「飯田型キャリア教育」を考える

10 広域的なキャリア教育の取組

- ・上伊那と南信州が連携してキャリア教育を推進し、飯田市教育委員会も協力している。
- ・「伊那谷 de キャリア教育研修会」を実施予定
期日:令和5年 月 日() 会場:南信州
内容:検討中